



# ガソリン携行缶取扱い説明書

この度は、KB印ガソリン缶をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
当容器は、ガソリンの小分け運搬を目的として製造しておりますので、ご使用前には本説明書をお読みの上、必ず記載事項を守ってご使用下さい。

## ①製品および付属品の説明



製品コード	KS-10Z	KS-20Z
指定容量	10 L	20 L
主材料	電気亜鉛メッキ鋼板	電気亜鉛メッキ鋼板
寸法 (mm)	350×165×294	350×165×470
乾燥重量	2.8kg	4.5kg
板厚	0.8mm	1.0mm (上部取手部0.8mm)
JANコード	4946951020017	4946951020024

左図	部品名	10・20L用	使用数量
(A)	キャップセット (パッキン付)	KS-CN	1
(B)	ノズルのみ	KS-20PN	1
(C)	Oリング (小) パッキンのみ	KS-20PS	
(D)	Oリング (大) パッキンのみ	KS-20PL	
(E)	油種ステッカー		1

○Oリングパッキン(大)(小)・平キャップ・ネジ部・ノズルは消耗品です。ご使用前に毎回必ず点検して変形・傷等が認められた場合はご使用を中止して速やかに交換して下さい。そのままご使用になりますと漏れの原因となり危険です。

○最初ご使用になる前に開口手順の要領でネジ部を開けて缶本体より分離した後、500ccほどのガソリンを入れネジ部を締め直しよくふってから10分間放置して漏れないことを確かめてから本格的にご使用下さい。

## ②注意事項

### 1. ⚠️ 危険「火気厳禁」

- 火気のあるところでは絶対使用しないでください。ガソリンは引火性が高く少しの火気でも引火するので非常に危険です。
- キャップの開口順序を間違えると圧力調整ができずガソリンが噴き出し大変危険ですので、必ず下記のキャップ開口順序通り行って下さい。
- 平キャップやネジ部をはずしたままでの運搬は絶対にしないで下さい。
- エンジンやモーターなど動力がついている物に給油する場合は、必ず動力を停止させ十分に冷えてから行って下さい。
- ポリエステルやナイロンなどの衣服を身に付けたことにより起こる静電気でも、気化したガソリンに引火する場合があります。
- 缶を横にして使用しないで下さい。ネジ部をはずすとき、空気孔よりガソリンが噴き出し引火の原因となり大変危険です。
- 缶の変形・破損等により漏れが発生した場合は、缶内のガソリンをすべて抜き取り使用を中止して下さい。そのままご使用になりますと引火の原因となり大変危険です。

(漏れの判断がつかない場合は、別途有償になりますが、検査、修理致しますのでお買い求めの販売店にご相談下さい。)

### 2. ⚠️ 警告

- 万が一火災が発生した場合は、消火器等で速やかに消火して下さい。手に負えない場合は、すぐに消防署消火依頼して下さい。

### 3. ⚠️ 注意

- ガソリン携行缶は運搬容器です。ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えて下さい。
- 内容物の有無に関わらず火気のある所、直射日光の当たる所、高温になる所、湿度の高い所、密閉された所、子供の手が届く所には置かないで下さい。※ガソリンの沸点は40℃程度ですが、直射日光の当たる車内での缶の温度は60℃以上になります。
- 寒暖差がある所では内圧の変化によりガソリン携行缶が変形します。これを繰り返すと亀裂が生じる恐れがありますので、周りに火気がないことを確認し上記以外の状況下でネジ部を少し緩め5秒程放置し、缶中の圧縮空気を逃がしてから再度ネジ部を締め直して下さい。※必ず缶の根元部分(ネジ部)を先に緩め、内部の圧力を調整してから使用して下さい。圧力が高いまま平キャップから開けると、圧力調整が取れず中身が噴き出る恐れがあり非常に危険です。
- ネジ部をゆるめた時、空気孔よりガソリンが出る場合があります。これは缶を揺らした事などにより缶内部に設けてあるエア抜きパイプの中に入ったガソリンが出るものであり異常ではありません。この様な場合はすぐにタオル等で拭き取って下さい。
- 20L缶に指定容量を入れると20kg以上の重量になります。缶を落とすとケガをする場合がありますので十分ご注意下さい。
- 空気孔の穴は、常時ゴミなどで絶対にふさがらないで下さい。

## 【キャップ開口順序】 ※間違った使い方をすると危険ですので必ずお読みください



①火気の無い場所で、ネジ部を少し緩め約5秒間(シューツという音が消える迄)缶内のエア抜きを行って下さい。

【注意】平キャップを先に緩めるとエア抜きが取れずガソリンが溢れ出す可能性がありますので、絶対にしないで下さい。

②エア抜きが終わったら①と同じ要領でネジ部を廻し缶本体より分離して下さい。缶の中よりノズルと一緒に出てきます。

③その後、平キャップを左に廻しネジ部と分離して下さい。

④ネジ部には、平キャップの反対側にノズルがセットされています。そのままノズルを上を向くよう逆さまにして缶本体にあてがい、確実に締めつけて下さい。作業が終わったら逆の手順でノズルを収納して下さい。